

科目名	デザインプロセス論 [プロダクト] (卒業必修)				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2		
担当教員	沈 得正				
内容および計画	<p>モノをデザインする行為において、デザインに関する知識やスキル不可欠である。本講義では、「デザインの行為とは何か」「デザインはどうやるのか」「何のためにデザインされたのか」を主要内容として論述する。すなわち、「プロダクトデザインの領域と特性を知る」「代表的なデザインプロセスのステップを踏まえながらデザインに関する基本的な知識やスキルを習得する」「日ごろ接するモノのデザインを正しく評価する目を養う」といった3つの目的で授業計画を組んでいる。</p> <p>授業は講義を中心に行い、加えてデザインプロセス論演習 [プロダクト] と対の関係で、デザインの行為やデザインプロセスの考え方を実際に体験しながら理解を深める。</p>				
1	デザインの行為とは？プロダクトデザインの領域と特性について				
2	①デザインはどうやるの？プロダクトデザインプロセスの概要について ②共感から始める：ユーザの設定、問題の定義の方法について				
3	①関連するマーケット商品の調査、情報の収集・整理の方法について ②コンセプトの設定方法について				
4	アイデアの創出方法について				
5	アイデアを具現化するためのプロトタイプについて				
6	プロトタイプによるアイデアの検討・選別方法について				
7	中間発表・発表の方法について				
8	コンセプト・アイデアの再考・改良について				
9	アイデアの再創出・再確認				
10	製図：実物制作に向けて図面を作成の重要性について				
11	実物制作の方法について				
12	実物制作				
13	実物制作				
14	考えを伝えるためのプレゼンテーション方法について				
15	プレゼンテーションと講評会				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
適宜にテキスト配布					
参考書	1) 日本インタストリアルデザイン協会編 『プロダクトデザインの基礎』 ワークスコーポレーション 2) アネミック・ファン・ブイエン共著 石原薫訳 『デザイン思考の教科書』 日経 BP 社				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	ユーザの設定、問題定義に関するプレゼンテーション				20
	デザインコンセプトに関するプレゼンテーション				20
	創出したアイデアのプレゼンテーション				20
	アイデア改良に関するプレゼンテーション				20
	同級生のプレゼンテーションに対する発言				20

<p>①授業内容に関する自己の体験や考え方を発言することを重視する。</p> <p>②欠席（－５点）、遅刻（－２点）、早退（－２点）は、減点します。５回以上の欠席は５回以上の欠席は履修放棄とみなします。問題のある授業態度（居眠り等）は、減点の対象とします。</p>	
学習到達目標	<p>①プロダクトデザインの領域と特性について述べるようになる。</p> <p>②デザインする際に必要なプロセスを応用できるようになる。</p> <p>③デザインされたモノに対して客観的に判断できるようになる。</p>
先修条件	
実務経験	
その他	